

A. 主な動き

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相に関する動き

・30日、プシヨナカ検事総長は、外務省、保健省、国家刑務所管理庁関係者と会談、ティモシェンコ前首相の国際医療支援チーム編成につき協議。同日、外務省は、同チームをドイツより2名、カナダより3名、赤十字国際委員会より3名をメンバーとして構成する予定である旨発表。

・2日、「パチキフシナ」党は、ティモシェンコ前首相が問われている刑法第365条に政治判断による免責を導入し、同首相を解放することを目的とした刑事訴訟法改正案を1月31日に最高会議に提出した旨発表。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ミュンヘン安全保障会議において、ウクライナ国内では政府も野党も欧州統合の方針に相違はないとし、欧州統合への唯一の障害はティモシェンコ前首相に関する問題である旨発言。

▼大統領の動き

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、キロヴォグラード州を訪問、URGA航空整備工場及び同州周産期母子医療センターを視察。

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、1月26日に採択された欧州評議会議員会議(PACE)決議に関し、ウクライナは欧州基準の人権を保護する法整備を進めており、同決議で示された問題は2012年内に解決する意向である旨発言。

・1日、リョーヴォチキン大統領府長官は、ヤヌコーヴィチ大統領が、1月26日に採択された欧州評議会議員会議(PACE)決議で示された問題を解決するための作業部会を発足させた旨発表。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ロキツキー国家保安庁第一副長官を同代行から解任する大統領令、及び、カーニン国家安全局長を新たに国家保安庁長官に任命する大統領令を発出。

2. 経済

▼マクロ経済

・30日、国家統計局は、2011年の実質 GDP 成長率を5.2%(2010年は4.2%)、2011年第4四半期の成長率を4.6%(第3四半期は6.6%)、2011年のGDPを1兆3,140億フリヴニャ(約13.1兆円)(2010年は1兆950億フリヴニャ(約11兆円))と報告。

・31日、アザーロフ首相は、2012年については、インフレを抑制するとともに、GDP成長率5.0%を達成したい旨(2011年12月の同首相による GDP 成長率の公式見通しは3.9%)発言。

▼金融・財政

・30日、財務省は、2011年における国家予算の赤字額を対前年比2.7分の1の236億フリヴニャ(約2,360億円)、に減少、歳入は対前年比30.7%増の3,146億フリヴニャ(約3.1兆円)と報告。

・2日、グレフ露貯蓄銀行(Sberbank)総裁は、IMF がスタンバイ合意の下でのウクライナへの拡張融資を拒絶する場合には同銀行が融資を行う用意がある旨発言。

▼ガス問題

・31日、エッティンガー・エネルギー担当欧州委員は、ウクライナ・ロシア間のガス価格交渉仲介の用意がある旨発言。

・1日、ボイコ・エネルギー石炭産業相は、寒波により増加しているガス需要は地下貯蔵庫から補填し、2012年のロシアからの輸入予定量270億立方メートルに変更はない旨、また、ロシアとのガス価格交渉へ EU の関与を期待する旨発言。

▼その他

・31日、閣僚会議は、ウクライナの学校へのコンピューター機器(8,000万元、約9.6億円)の提供に関する中国政府との協定への署名を承認。

・1日、投資・国家プロジェクト管理庁は、キエフ市とボリスポリ国際空港を結ぶエア・エクスプレスの建設が遅れており、早くても春の開始になる旨報告。中国側はいくつかの懸念点があり、また、融資の歳出源がまだ利用できないことから、技術的契約への署名に至っていない状況。

3. 外政

▼フィラト・モルドバ首相のウクライナ訪問

・2日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナを訪問中のフィラト・モルドバ首相、ラザル・モルドバ副首相兼経済相と会談し、政治、経済分野における両国間の対話を強化する旨発言。

・2日、アザーロフ首相は、フィラト・モルドバ首相と会談し、両国間の貿易額は増加しており、今後もその傾向が期待できる旨発言、エネルギー問題では、ウクライナの電力のモルドバへの供給量を増加させたい意向を表明。

・3日、リトヴィン最高会議議長は、ウクライナを訪問中のフィラト・モルドバ首相と会談し、対等で安定した両国関係を高く評価し、協力関係の更なる強化の必要性を確認。また、同議長は、CIS 枠内の FTA の加盟国同時批准の必要性を強調し、両者は、沿ドニエストル問題解決に関しても協議。

4. 防衛

▼2012-2017軍装備品取得計画

・31日、アルツェンコ国防省武器・軍装備品開発・調達部長は、

2012-2017の軍装備品取得計画がまもなく承認される旨発表。

・計画によると、2017年までの開発経費は推計167億9,000万グリブナであり、2012年にMi-24ヘリコプターの近代化、2014年にAn-70輸送機の配備、2016年に新コルベット艦の配備を予定。

▼2～3日、エジェリ国防相のブリュッセル訪問

・2日、エジェリ国防相は、NATO国防相会合出席のためブリ

ュッセルを訪問。

・2日、ドルホフ駐NATOウクライナ大使は、2013年にウクライナがNATO海賊対処活動に参加予定である旨発言。

▼その他

・28日、アレクセイエフ国家宇宙庁長官は、2017年に新ウクライナ戦術ミサイルシステムを軍に導入予定であり、航空宇宙及び防衛産業に関わる約70社が参加し99%がウクライナで製造される旨発表。

(了)